

和歌山だよいい

平成26年 5月号



ぶどう山椒 (有田川町)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P9
3. お知らせ…………… P10～P16
4. ふるさと歳時記…………… P17～P18

紀の国わかやま国体まで約500日です。御支援よろしくお願ひします。



コピペ

コピーペーストの略です。別の文章をコンピューター上で切り取って、コピーをし、自分が作ろうとしている文章の中に貼り付けることです。

今やコンピューターなしには我々は生きていけません。まさに情報化時代の到来です。このように情報化が進んだ結果、便利な事は数限りなくあります。知識を得るのが格段に容易になりました。ネットの力を利用してどんどん検索ができるからです。また、知的作業の生産性も上がりました。計算があつという間にできてしまうし、電子入力した作品は少し手直しが必要と思うと一から書き直さなくても簡単に直せるし、ソフトウェアツールの力を借りて、印象的な美しいデザインにできるし、写真、図表、グラフなども簡単に作成したり、貼り付けたりできるようになりました。

しかし、身近の例などを見ても、どうも問題だなあと思う点も出て来ているように思います。まず、ネット情報を簡単に真実だと信じる傾向があると思います。どんな情報も最初に入力したのは人間であり、そこには誤りや何らかの意図をもった操作があるかもしれません。だから、いつも「ほんまかいな」という心を持って情報を扱わねばなりません。

次にこのコピペです。あまりにも簡単に人の作品を自分の作品の中に移せるので、やってしまう事が多いようです。最近の大学生の論文などには、これがあまりにも多いとあきれている大学の先生がいました。知的作業の効率化とただの盗作をはきちがえているようです。世紀の



快挙と注目された 小保方 晴子さんの論文にもこれがあったらしいと報じられています。事の真偽は分かりませんが、どんなに情報化が進み、便利になっても、やはり真に価値のある人間の営みは、自分で調べ、自分で努力し、自分で考え、そして自分の言葉で人に伝える事であると改めて思いました。

4/15 定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●知事がブラジルを訪問

- ・4月23日から4月30日までの日程で、仁坂知事は、山田 正彦県議会議長ほか県議会の代表10名、さらに食品や観光関係などの県内事業者の方々とともにブラジル(南マット・グロッソ州ドラードス、サンパウロ)を訪問しました。
- ・ドラードスでは、戦後、県出身者が開拓した移住地や子弟が通う日本語校を訪問し、同市周辺に多く住む県出身者への慰労を行うとともに、県出身者及び子弟との絆を一層深めました。
- ・サンパウロでは、創立60周年を迎える在伯和歌山県人会連合会の記念式典に参加するとともに、同行する県内企業とともに「和歌山プロモーション」を開催するなど和歌山のPRを行いました。

ドラードス

○ドラードス市主催歓迎セレモニー・夕食会

- ・4月24日、戦後、県出身者が中心となって開拓を進めた移住地があったドラードス市を訪問し、市長をはじめ地元関係者の方々から歓迎を受けました。知事による同市公式訪問は、今回が県政史上初となりました。前回のサンパウロにおける在伯和歌山県人会連合会創立55周年記念式典への訪問時(平成21年)に、同市から大勢で参加していただきましたので、今回はこちらから訪問させていただきました。
- ・同市周辺には、過去に県出身者約110家族が入植し、現在も県出身者及びその子弟の方々300世帯が住んでおり、南マット・グロッソ州和歌山県人会(谷口 史郎代表)も組織されています。



○松原移住地訪問

- ・4月25日、県出身者が中心となって開拓した移住地の一つ「松原移住地」を訪問し、まだそこにお住まいの方々との意見交換をしました。
- ・松原移住地は、みなべ町出身の実業家 松原 安太郎氏によって計画され、戦後のブラジル移民の先駆けとなりました。1953年以降、県から56家族が入植し、厳しい移住環境の中、現在の生活を築き上げました。現在も県出身者の方々が在住しています。

○南マット・グロッソ州和歌山県人会主催歓迎式典・交流会

- ・4月25日、南マット・グロッソ州県人会主催の歓迎式典及び交流会に出席し、同市及び周辺地域に住む県出身者及びその子弟の方々から約200名から歓迎を受けました。
- ・式典において、仁坂知事から80歳以上の高齢者26名の方々に表彰状、日本とブラジル両国の友好親善に功労のあった 谷口代表に感謝状を、さらに、仁坂知事と県議会から山田議長が記念品をそれぞれ贈呈し、県出身者の方々を激励しました。



○ドラードス日本語モデル校訪問

- ・4月26日、日系人の子弟の方々が日本語を学ぶドラードス日本語モデル校を訪問し、生徒による和太鼓演奏での歓迎を受けた後、城田 志津子校長の案内で校内を見学しました。また、日本語教材を寄贈するなど生徒の皆さんを激励しました。



サンパウロ

○在サンパウロ日本国総領事主催夕食会

・4月26日、在サンパウロ日本国総領事公邸に招かれ、福嶋総領事やJETRO(日本貿易振興機構)石田所長らとブラジル観光客誘致、県産品の輸出促進について意見交換しました。

○在伯和歌山県人会連合会創立60周年記念式典・祝賀会

・4月27日、在伯和歌山県人会連合会(木原 好規会長)創立60周年記念式典及び祝賀会に出席しました。式典には、県出身者、その子弟の方々ほか日本政府関係者など約600名が参加し、県出身者の皆さんと訪問団との交流を深めました。



・式典において、仁坂知事から県出身者で百歳長寿者2名と80歳以上の長寿者82名の方々に表彰状、県との交流に貢献された功労者2名の方々に感謝状を、さらに仁坂知事と山田県議会議長から記念品をそれぞれ贈呈しました。

・一方、日本・ブラジル両国の友好親善に貢献したとして、ブラジル連邦議会から仁坂知事に功労賞が贈られました。

○ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑参拝

・4月27日、イビラプエラ公園内にある日本移民開拓先没者慰霊碑を参拝し、ブラジル各地において亡くなった開拓先没者に敬意を表するとともに、慰霊を行いました。



・同慰霊碑は、1975年、ブラジルの各地において志半ばで亡くなった日本人移民の霊を祀るために建立され、過去にサンパウロを訪問した天皇・皇后両陛下

をはじめとする皇族や歴代総理大臣など政府要人などが参拝しています。日本から要人が公式に訪問した際には参拝は欠かせない日本移民の心の拠り所となっています。

○和歌山プロモーション

・4月28日、現地の食品関係事業者、旅行代理店、メディアなど約100名を対象にセミナーを開催しました。仁坂知事は「和食の原点“和歌山”」と題してプレゼンテーションを行い、昨年、世界無形文化遺産に登録された「和食」に欠かせない醤油や鰹節が和歌山発祥であることや、健康によい梅干しなどの県産品について説明するとともに、「原点」である和歌山には一番美味しいものがあるので、是非お越しいただきたいと呼びかけました。



・参加企業5社による県産品に関するプレゼンテーションの後、仁坂知事は現地メディアによるインタビューを受け、今回のブラジル訪問の感想や今後のブラジルとの交流について言及しました。

・午後からは、県産品の試食会と参加企業による商談会を開催し、試食会では、梅酒や梅シロップ、醤油、お酢などが振る舞われ、セミナーに引き続いて参加した大勢の人で賑わいました。その後、早速熱心な商談活動も展開されました。

●「和歌山トライアンズ」が「おいしい！健康わかやま産品応援隊」に就任！

・4月26日、和歌山市のノーリツアリーナ和歌山において、NBL(ナショナル・バスケットボール・リーグ)所属のプロバスケットボールチーム「和歌山トライアンズ」に、「おいしい！健康わかやま産品応援隊」の委嘱状を交付しました。



・県では、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに県産品のPRや販路拡大に取り組んでいるところですが、「和歌山トライアンズ」の元気ではつらつとした姿にあやかって、この度、就任いただくことになったものです。



・下副知事からジェリコヘッドコーチと2選手に委嘱状等が手渡され、ジェリココーチからは、「和歌山県にふさわしい応援隊として指名いただいたことは光栄であり感謝します。」と挨拶がありました。

・「和歌山トライアンズ」は、今後、“フルーツバスケット部隊”として、「おいしい！健康わかやま」のロゴマーク入りユニフォームの着用や相手チーム選手並びに観客の皆さんに県産フルーツや梅干し等の提供など、イメージリーダーとして「カゴ」に溢れんばかりの県産品の魅力を発信していただきます。

・今回の委嘱は、昨年7月に就任いただいたロンドン・オリンピック体操日本代表「田中3きょうだい」田中 和仁さん、田中 理恵さん、田中 佑典さんに続いて第2弾となりました。

・なお、「和歌山トライアンズ」は、同日と翌27日に行われた対アイシンシーホース三河2連戦に連勝し、見事逆転でNBLウェスタンカンファレンス1位に輝きました。今後はリーグ優勝を懸けて、5月10日、プレーオフ第1戦が愛知県体育館で開催されます。皆さんの熱い御声援をお願いします！

●わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度に基づき4処理事業者が初の認証取得

・4月9日、わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度に基づき、4処理事業者が初の認証を取得し、認証書を交付しました。



・この制度は、小売業者や消費者に安心感を与え、より多く食べてもらうため、ジビエ処理施設の衛生管理状況やわかやまジビエ衛生管理ガイドラインの遵守状況、捕獲や処理方法等の履歴がわかるシステムの導入などの自主的な取組を審査し、基準に適合している安全な施設として県が認証するものです。

・この認証制度により、「わかやまジビエ」の安全性を確保し、肉の流通や消費量を拡大することで、農作物の被害を減らしつつ県内の産業振興にもつなげていきます。

○認証施設

| 認証番号 | 処理事業者 | 処理施設の名称 | 所在地 |
|------|-------|---------|-------|
| 第1号 | 北浦 順嗣 | いの屋 | 和歌山市 |
| 第2号 | 北浦 順嗣 | いの屋2号店 | 和歌山市 |
| 第3号 | 芝田 昭洋 | 山湯 | 湯浅町 |
| 第4号 | 藤井彦次郎 | かつらぎ商店 | かつらぎ町 |

●農林水産業競争力アップ技術開発の新規研究テーマ決定

・県の農林水産業を牽引する新たな技術開発を加速するため、平成24年度に「農林水産業競争力アップ技術開発」を創設し、生産者団体をはじめ県民の皆さんから、各試験研究機関が取り組むべき研究テーマを公募しているところです。

・今年度の研究テーマについて広く募集したところ、107件の提案があり、学識経験者等の評価をいただいた上で、新規研究テーマを以下のとおり決定しました。

| 研究テーマ | 試験研究機関 | 研究概要 |
|------------------------------|----------|---|
| ウメ新品種「橙高」の色・機能性を活かした生産加工技術開発 | うめ研究所 | 機能性成分カロテノイドを含む県オリジナル品種「橙高」のカロテノイドを高める栽培方法と新たな加工品の開発  |
| イチジク株枯病の防除対策 | かき・もも研究所 | 土壌伝染性で防除が困難な株枯病に対し、薬剤に加え抵抗性台木や土壌改良資材を検討  |
| 豪雨に対応した温州みかん黒点病の発生要因解明と防除対策 | 果樹試験場 | 増加傾向にある果実の品質を落とす黒点病に対し、人工降雨により発生条件を解明し被害を軽減  |
| エンドウを加害するウラナミシジミの緊急防除技術開発 | 果樹試験場 | 秋から収穫するエンドウの被害の増加に対し、エンドウ栽培に適した防虫ネットを開発  |
| 施設野菜花きの省エネルギー技術開発 | 暖地園芸センター | 農家経営を圧迫する重油価格の高騰に対し、断熱資材と局所加温により重油使用料を削減  |
| スギノアカネトラカミキリの低コスト被害抑止技術開発 | 林業試験場 | スギノアカネトラカミキリの生態を調査し、低コストな被害抑止技術を開発  |
| イワシ・アジ・サバ類の漁場形成機構の解明と魚群速報の発信 | 水産試験場 | 魚探情報から魚種・大きさ・魚群漁を推定し、漁場情報をリアルタイムに発信  |

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会協賛企業等に感謝状贈呈



・4月4日と4月16日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度における「オフィシャルサプライヤー」に新たに決定した企業及び「きいちゃん募金」に多額の寄附をいただいた以下の企業・団体に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。



・仁坂知事は各企業の皆さんに、お礼とともに「施設整備や選手強化は進んでいます。これから、いろいろな県民運動を進めていきます。」と述べました。

・提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などの大会運営経費に活用させていただきます。

○協賛企業

| 区分 | 企業名 | 提供内容 | 出席者 |
|------------------|---------------------|-------------------|-------------------------------|
| オフィシャル サプライヤー | (株)夏山組 | 花いっぱい運動用 プランター | 夏山 晃一 代表取締役社長 |
| | (株)ユニフルーティー ジャパン | 障害者スポーツ 競技用具 | 馬場修一郎 西日本営業部 デパートメントマネージャー |
| | (株)オオミヤ | 競技用具 | 出水 竹夫 代表取締役社長 |

○寄附企業・団体

| 企業名 | 出席者 | 団体名 | 出席者 |
|----------|-------------|-------------|-----------------------|
| (株)関三吉商店 | 関 康之 代表取締役 | WakayamaT&M | 辻 曙生 名誉会長 |
| (株)小森組 | 小森 正剛 取締役社長 | | 松本 修司 会長 |
| (株)古部組 | 仲 修美 代表取締役 | | 岩橋 利明 総務運営委員長 |
| (株)柏木建設 | 柏木 学 代表取締役 | | 吉岡 達弘 広報情報増強 委員会代表 |
| 杉谷産業(株) | 井口 成実 代表取締役 | | |

●情報支援ボランティアの養成が始まります！

・4月19日から8月29日までの間、主として紀の国わかやま大会(第15回全国障害者スポーツ大会)において、手話や要約筆記により聴覚障害のある選手、役員及び観客の方に、開閉会式や競技の進行状況、会場のアナウンス等の情報を提供するとともに、コミュニケーションの支援を行う情報支援ボランティアの養成講座を開催しています。

・応募いただいた方々(665名)を対象に、手話(495名)は全7回、要約筆記(手書き：112名、パソコン：58名)は全2回の講義と実技からなる養成カリキュラムにより、活動に必要な専門知識を習得していただきます。



●第32回(平成31年度)ねんりんピック(全国健康福祉祭)の開催決定!

・高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」の本県での開催を厚生労働省に要望していたところ、第32回大会(平成31年)の本県開催が決定しました。本県での開催は初めてとなります。

・ねんりんピックは、10月中旬から下旬の4日間の開催を予定し、選手(60歳以上)・役員等約9千人や観客等を含む延べ約50万人の参加者が見込まれています。また、過去の大会においては、常陸宮同妃両殿下の御視察等が行われています。

・来年の紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会、平成29年の全日本マスターズ陸上競技選手権大会、平成33年の関西ワールドマスターズゲームズの開催に加え、今回平成31年のねんりんピックの開催決定により、2年ごとに大きな大会が県で開催されることとなり、これを契機として、生涯スポーツ先進県を目指していきます。



イメージ



●南紀熊野ジオパーク推進協議会第2回総会を開催

・4月18日、白浜町において、南紀熊野ジオパークの今年度の日本ジオパークネットワークへの加盟を目指し、南紀熊野ジオパーク推進協議会の総会を開催しました。

・冒頭、仁坂知事は、「地域のジオパークの活動をさらに盛り上げ、まずは、日本ジオパーク、そして、世界ジオパークを目指していきたい。」と決意を述べました。また、ジオパーク認定を目指した事業計画等について協議するとともに、南紀熊野ジオパーク構想のロゴマークについても決定しました。

・今後も日本ジオパークネットワークへの加盟に向け、様々な事業に取り組んでいきます。



・ジオパークに関係する現代美術作家の 林 憲昭さん(串本町)、番留 京子さん(新宮市)、アーティストの 平野 薫禮さん(新宮市)の3名が協力してマークを完成。

・紀伊半島のシルエット、南紀熊野の大地を形成する3つの地質(緑：付加帯、黄色：前弧海盆堆積体、赤：火成岩類)を表す三色の帯、豊かな海を表す青い帯を、一つの丸の中におさめたシンプルなマーク。三色の帯と青色の帯の重なりは、プレートの沈み込みによって南紀熊野の大地が作られたことも表現。

・なお、日本ジオパークに認定されるまでの間は、マークに「めざせ!」を加えて使用。



●和歌山県×NEXCO西日本がタイアップ「お国じまんカードラリー」実施中！

・4月12日から来年1月12日までの間、和歌山県を含む西日本19府県とNEXCO西日本がタイアップし、各地をドライブや旅行で楽しんでいただける「お国じまんカードラリー」を実施しています。

・この企画は、西日本各府県の全119か所に設置してある「GO! JIMANカード」を収集しながら各地を周遊していただくもので、カードには各スポットの紹介のほか、「方言クイズ」を掲載しており、「ごじまん」の「旬」のスポットを楽しみつつ、ご当地の方言も学ぶことができるようになっています。さらに、カードのシールを集めて応募すると、ご当地名産品や豪華旅行券が当たります。皆さんの御参加をお待ちしています。

・詳細はHPを御覧ください。

http://www.w-nexco.co.jp/drive_porter/driverally/



◇和歌山県内の紹介スポット＆「GO! JIMANカード」設置箇所

＜紹介スポット＞

- ・壇上伽藍
- ・慈尊院
- ・丹生都比売神社
- ・大斎原
- ・那智の滝
- ・ゴトビキ岩

＜カード設置場所＞

- ・壇上伽藍(高野町)
- ・慈尊院(九度山町)
- ・丹生都比売神社(かつらぎ町)
- ・熊野本宮大社(田辺市本宮町)
- ・飛瀧神社(那智勝浦町)
- ・熊野速玉大社(新宮市)



慈尊院

●「ラ フェスタ プリマヴェラ 2014」が和歌山にやってきました！

・4月18日から4月21日までの4日間、クラシックスポーツカーが東海から近畿地方の名所・旧跡を駆け巡る国際的なクラシックカーラリー「La Festa Primavera 2014」が開催され、19日と20日は本県を走行しました。

・本県がコースに組み入れられてから4回目で、両日にわたってくじらの博物館(太地町)、潮岬観光タワー(串本町)、千畳敷(白浜町)、道成寺(日高川町)、和歌山城(和歌山市)などを、アストンマーチンなどの世界の名車が駆け抜けました。

・タレントの 堺 正章さん、ラリードライバーの 篠塚 建次郎さんらも参加するなか、スタート地点の名古屋市の熱田神宮を出発後、本県最初の通過ポイントである道の駅なち(那智勝浦町)に到着し、沿道に詰めかけた多数のファンに迎えられました。

・来年も春を運ぶイベントとして開催される予定です。



●古座川町に新たな「道の駅」が誕生！

・4月4日、古座川町池野山地内に県内27番目の「道の駅」として「虫喰岩」が登録され、同日付でオープンしました。4月11日には、古座川町役場において登録証が伝達されました。

・同町内では、「一枚岩」「瀧之拝太郎」に次いで3か所目となるこの「道の駅」は、巨大なカルデラが長い年月の間に侵食されたことで形成され、日本地質百選にも選定されている「古座川弧状岩脈」に連なる国指定天然記念物“虫喰岩”の前に位置しています。この地域を訪れる観光客等の大半は、古座川の河口を通過するため、河口におけるこの名勝の前で観光情報等を発信することにより、古座川奥の観光名所へと誘導します。また、古座川の豊かな自然が育んだ野菜や、地場製品の紹介及び販売を行っています。

・今後、町内に設置されている3つの道の駅の連携による観光産業をはじめとした地域の活性化が期待されます。

・皆さんも古座川町にお越しの際は、是非お立ち寄りください。



道の駅「虫喰岩」

●九度山町に初めての「道の駅」が誕生！

・4月26日、九度山町初の「道の駅」である「柿の郷くどやま」がオープンし、供用記念式典が開催されました。式典では、真田出陣太鼓の披露や紀州九度山真田そばのふる舞いなど、住民ら約6千人が参加し、盛大にオープンを祝いました。

・この「道の駅」は、昨年10月11日に、県内26番目の「道の駅」として登録され、オープンに向けて準備が進められてきました。霊峰高野山の山麓に位置し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された高野地域の情報発信を目的としており、九度山町の特産品や県内産品を販売する農産物直売所をはじめ、地域食材を活用した飲食施設などが設置されています。また、敷地内には子どもたちのための大型遊具が設置された憩いの広場も併設されており、今後、観光活性化と地域の利便性の向上が期待されます。

・皆さんも、九度山町にお越しの際は、是非お立ち寄りください。



道の駅
「柿の郷くどやま」

「和歌山県観光振興実施行動計画アクションプログラム 2014」 を策定しました！

＝和歌山県観光振興実施行動計画＝アクションプログラム2014＝

◆アクションプログラム2014の重点的取組◆

わかやま観光リレーキャンペーンで売り出す、招く、もてなす

- ◆「伊勢神宮式年遷宮」で招く、もてなす
 - ・ガイドブック「熊野詣指南書」を中心に都市圏プロモーション等で情報発信
- ◆「和歌山デスティネーションキャンペーン(わかやま DC)」で売り出す、招く、もてなす
 - ・県、市町村、観光関連団体、交通機関から構成される「DC 推進協議会」一丸で取り組む
 - ・「紀州浪漫・夏号」をわかやま DC 特集(20 万部)とし、DC イベントガイドブック(50 万部)とともに情報発信
 - ・産業とのコラボレーション(ホールゲームや伝統工芸品のお詠え、地場産業の見学や体験)
 - ・1万人のウォーク&トレッキング(県内各地で120イベント以上実施)
 - ・おもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」の実施
- ◆「高野山開創 1200 年」で売り出す、招く
 - ・高野山の魅力を満載した「高野山本」などの制作を主要出版社に提案
 - ・モデルコース集の作成と旅行会社訪問(地域の自治体、観光関係団体と協働で都市圏の主要旅行会社を訪問・提案)
 - ・全国宗務支社(53支社)等に対して案内文書の送付や、直接訪問による依頼を実施
 - ・週末を有効に活用したい女性をターゲットに、京阪神からのアクセスの良さを活かした宿泊プランを高野山宿坊協会と協働で企画
 - ・四国ツーリズム創造機構と連携したプロモーションを実施し、高野山への誘客につなげる
 - ・フェリーでらくらく！魅惑の和歌山・高野山♪行っ得キャンペーン(四国の個人客を対象にフェリー利用特典を付与)
 - ・JR 西日本のわかやま DC 特別企画の継続実施と、JR 東海へのキャンペーン実施を働きかけ
 - ・紀北エリアの寺社を中心に県、市町村、鉄道三社が参画し、さらなる充実を図る
 - ・ウェブの活用、海外プロモーション、国内都市部での情報発信
- ◆「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」で招く
 - ・ソフト(「わかやまおもてなし宣言」、各種研修会の実施等)、ハード(トイレ整備等)の両面で、再訪の動機につなげる



和歌山を売り出す

- ◆「世界遺産」で和歌山を売り出す
 - ・世界遺産登録10周年記念祭(仮)の実施(7/7(東京)、7/31(名古屋))※日程は未定
 - ・参詣道の四季、天候、時間といった魅力をテーマごとに提案し、「参詣道」の新たな人気スポットを拡充

- ・県内の四参詣道に設置したスタンプ押印者に、踏破証明書を発行し、誘客・リピーターの拡大を図る
- ・CSR 活動等による環境保全活動をはじめ、参詣道の道普請や清掃を実践する環境保全トレッキングを実施
- ◆「温泉」で和歌山を売り出す
 - ・“和歌山ならではの温泉と温泉地の楽しみ方”をDC イベントガイドブックやわかやま DC 専用サイトで紹介
- ◆「ほんまもん体験」で和歌山を売り出す
 - ・観光協会、旅館組合などが中心となって、周辺の体験プログラムを情報発信
- ◆「歴史・浪漫」で和歌山を売り出す
 - ・「わかやま記紀の旅」の情報発信(県観光情報サイトで情報発信するほか、パンフレットにQRコードを印刷し、誘導)
- ◆「四季折々の魅力」で和歌山を売り出す
 - ・旬の情報を情報誌「紀州浪漫」や、イベント情報「旬の宅急便」で発信
- ◆「食の魅力」で和歌山を売り出す
 - ・健康わかやまを食べに行こう！朝食メニュー(宿泊施設の特色ある朝食メニューを県観光連盟で認定し、発信)
- ◆「自然の素晴らしさ」で和歌山を売り出す
 - ・世界ジオパーク認定を目指した「南紀熊野ジオパーク」構想との連携を図りながら、観光振興での活用を図る
 - ・「わかやまサイクリング旅」による発信(県観光情報サイト内で途中立ち寄り可能な施設・店舗を検索できるようにする)
- ◆「ブランド」で和歌山を売り出す
 - ・和歌山県ふるさと大使(坂本冬美さん、小西博之さん)、わかやまパンダ大使(岡本玲さん)、和歌山県観光大使(袁文英さん)には、様々な観光イベントなどに出演を依頼し、メディアを介して広く情報発信をしていただく
 - ・イメージキャラクターの活用(本県出身の漫画家・助野嘉昭氏の協力を得ながら制作した、アニメ系のイメージキャラクターを各種プロモーションで活用)



和歌山へ招く

- ◆「ターゲットごとのプロモーション」で和歌山へ招く
 - ・メディア展開(若い女性層に高い支持のある雑誌やテレビ等を活用した魅力発信を実施)
 - ・大手企業のパブリシティを最大限に活用するため、企業側にもメリットのあるタイアップ活動を開拓・推進(世界遺産の企業等 CSR 推進)
 - ・全国の信用金庫に向けプロモーション活動を展開し、本県へのさらなる年金旅行誘致を図る
 - ・修学旅行セミナーの開催や、旅行会社、学校等にセールス活動実施
- ◆「メディアを活用」して和歌山へ招く
 - ・企画提案活動の実施(テレビ、ラジオ、雑誌社、ウェブなどの各種メディアに対し、それぞれの媒体のコンセプトやターゲット層にマッチした観光素材の提案活動を実施)
 - ・映画やテレビ番組等のロケを誘致することで、映像を通じた魅力発信と認知度向上を図る



◆「首都圏」から和歌山へ招く(わかやま紀州館)

- ・メディア等を通じた認知度の向上(メディア各社への訪問及び企画提案やメディア媒体での和歌山情報の集中露出)
- ・首都圏大規模誘客集中イベント「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」(各種メディア、旅行会社との連携)



◆「近畿、東海、西日本等」から和歌山へ招く

- ・夏・秋プロモーションに加え、DC 特別プロモーションを実施し、旅行会社、メディア、消費者にアプローチすることで誘客につなげる
- ・JR、南海電鉄、和歌山電鉄とのタイアッププロモーション実施
- ・NEXCO 西日本や NEXCO 中日本との連携による情報発信
- ・南海フェリー、和歌山市、和歌山市観光協会、高野町、高野山宿坊協会、県が協働でフェリー利用促進、誘客につなげる

◆「海外」から和歌山へ招く

- ・継続的な団体旅行の催行を図り、増加する個人旅行については、関西国際空港を起点とした旅行プランを充実させ、現地観光プロモーターと連携して旅行会社やメディアへの売り込み、PR を実施
- ・タイ、シンガポール、マレーシアに続きインドネシアについても旅行博への出展や商談会等でセールスを実施
- ・世界遺産の魅力をさらに伝えるため、欧州での活動を中心に現地旅行会社やメディアとの関係を活用し情報発信力を一層高める

和歌山でもてなす

◆わかやまおもてなし県民運動

- ・県民総参加により、将来にわたり持続可能な観光力の強化につなげるため、県民一人ひとりが来訪者に対して具体的な取組を「わかやまおもてなし宣言」として登録し、実施いただく(登録者 918 件、22, 151 名(3 月末現在))



- ・観光週間(例年 11 月実施)に関わらず、DC 期間中、様々な「おもてなし企画」を展開

◆接遇の向上・人材の育成

- ・タクシードライバーのおもてなし力向上(県企画部と連携し、和歌山おもてなしタクシーの運行(4 月～)、優良ドライバーの養成、接客・接遇講習会の実施、車内の登録証や名刺に「わかやまおもてなし宣言」の記載などを実施)
- ・おもてなしの宿づくり支援アドバイザー派遣(宿泊施設のインテリア料理等についてのアドバイザーを派遣)

◆外国人観光客の受入れ

- ・英語・タイ語・インドネシア語対応外国人 FIT(個人旅行)観光客向けガイドブック作成

◆快適観光空間の創造

- ・和歌山おもてなしトイレ大作戦
- ・観光施設等整備補助
- ・旅館等にアドバイザーを派遣し観光客ニーズに対応した宿づくりを支援

詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062400/actionprogram2014.html>

アクションプログラム 2014

和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 を策定しました

■ アクションプログラム2014の概要

1. おいしい！健康わかやまの魅力発信

「おいしい！健康わかやま」を前面に打ち出して、「わかやま」＝「健康」を想起させるような好感度の高いオフィシャルサポーターを起用するとともに、情報発信力のある大手企業とのコラボ企画、JAグループとの協働展開など様々な企画を連動させて、全国規模で「わかやまファン」の獲得を目指す！

- ◆ 『おいしい！健康わかやま』のイメージ定着戦略
 - ・バスケットボールチーム和歌山トライアンズも「おいしい！健康わかやま産品応援隊」に参加
- ◆ 県産食材の機能性アピール
 - ・「健康」や「美容」などに役立つという情報を活かして、県産品の魅力を全国にPR
- ◆ 県産食材テロワールの発信
 - ・生産現場とシェフ等食材を使う方々との情報共有や交流を促進
 - ※「テロワール」…フランス語で、生育地の地理、地勢、気候、こだわりの栽培法や確かな技術により栽培される農作物の生育環境のこと
- ◆ 大手企業とのコラボレーション
 - ・好感度が高く発信力のある大手企業等とのタイアップで県産品の魅力を全国に発信
- ◆ JAグループ(県農協連合会)との協働展開
 - ・県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体に効果的にPR
- ◆ 県内商工団体と連携した“わかやま紀州館ネットワーク”の形成
 - ・「わかやま紀州館」のアンテナショップ活動に県内商工団体も参画し、一体となって県産品を全国にPR
- ◆ わかやまファンのネットワークづくり
 - ・全国の消費者の方々にSNS等を活用して情報発信し「わかやまファン」のネットワーク形成
- ◆ ご当地スイーツ「わかやまポンチ」の展開
 - ・「わかやまポンチ」の取組を国内外に拡大し、フルーツ王国和歌山の魅力を国内外に発信



2. 有利な販路の開拓

県産品のブランド化を促進するため、高級百貨店やレストランなど高級チャネルをターゲットに提案活動を展開

FOODEX JAPAN 等大型見本市でのバイヤーとのマッチングなど、県内生産者の販路開拓を総合的に支援し、国内外へ売り込みをかける！

<国内編>

- ◆ プレミア和歌山の販売促進
 - ・プレミアム和歌山をはじめ優良な県産商品の首都圏等での積極的な販売促進活動を展開
- ◆ 外国人旅行者向け免税拡充の取組
 - ・外国人旅行者向け消費税免税制度の改正を契機に、海外からのお客様により一層買い物を楽

しんでいただくとともに、県内小売店等もこの制度を活用し対応できる支援メニューを実施

◆有名百貨店等への提案活動

・生産者にとって有利な販路開拓のため、全国の有名百貨店で食品関連催事を積極的に開拓

◆高級レストラン等外食産業との連携強化

・食材の希少性やストーリー性を重視した提案で高級レストランや有名シェフとの連携強化

◆大型見本市への出展

・新たな販路開拓支援のため、国内外の食品関係事業者やバイヤー参加の大型展示会に出展

◆わかやま産品商談会の開催

・新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西バイヤー向けに「わかやま産品」の魅力を紹介し、近畿圏での販路開拓を支援

◆J Aグループと協働で和歌山フェアを開催

・全国規模で県産品の消費拡大を図るため、全国主要都市のJ A特約店で加工品や観光情報を加えたオールわかやまフェアを開催

◆ふるさと和歌山わいわい市場

・県内生産者の新たな顧客獲得を支援するため、インターネットショッピングモール「ふるさと和歌山わいわい市場」を積極的に活用



<海外編>

◆香港貿易発展局とのMOU締結の活用

・香港貿易発展局とのMOU(経済交流に関する覚書)を活用し販路を開拓

◆EUでの県産品ブランド化

・欧州での県産品のブランド化、販路開拓のためフランス、イタリア等EUでの活動を推進

◆和歌山フェアの開催

・果実輸出量拡大のため、高級量販店での店頭販促活動、高級百貨店で和歌山フェアを実施

◆海外バイヤーの招へいと商談会の開催

・JETRO等と連携し多方向のバイヤーを招へいし、県内事業者のマッチング機会を拡大



3. 売れるモノづくりへの支援

情報収集を強化し、国内外への展開を目指す県内事業者を育成するため、商談力アップや品質管理等実践的な研修を実施

中間加工食品など県内事業者の新たな商品開発やマーケットニーズに立ったモノづくりを支援！

◆県内事業者からの情報収集を強化

・事業者ごとの課題や要望に添って県施策を紹介し、県内外販売を目指す積極的な業者を育成

◆県産食材を活かした中間加工食品の開発

・大手企業との連携による新たな販路開拓のため県産品による特色ある中間加工食品開発支援

◆生産者支援セミナーの開催

・新商品開発から安全安心の手法、商談ノウハウ提供まで「売れるモノづくり」を総合的に支援

◆新商品開発に取り組む地域や企業を応援

・和歌山特産の紀州南高梅や山椒、イノブタ等の県内各地の新商品開発への取組を支援



詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>

「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2014」を策定しました！
 ものづくり和歌山の販売促進戦略
 ～ものづくり王国「和歌山」を全国に、そして世界に～

■ 2014年度の重点取組

1. 国内外販路開拓支援

県内企業の国内外への販路開拓を支援

◆海外でのビジネス支援

- ・4月に開催されるブラジル移民60周年事業の際、ブラジルでセミナー等を実施
- ・エルトゥールル号に対する先人の人道的活動から交流が生まれたトルコで9月に商談等実施
- ・友好提携30周年を迎える中国山東省で9月に展示会出展、商談等を実施
- ・香港貿易発展局と連携し集団での展示会出展、調査ミッション派遣、ビジネスセミナー開催
- ・インドマハラシュトラ州で県内企業のニーズに応じてビジネスミッションや調査団派遣
- ・台湾TJPOと連携し、ビジネスミッション・調査団派遣、訪問引受け、ビジネスセミナー開催
- ・海外展開のための調査実施 7月：香港ファッションウィーク調査ツアー
9月：北欧デザイン雑貨調査ツアー、欧州展示会調査ツアー

◆専門的な展示会への集団出展(海外)

- ・香港・ハウウェア・フェア：アジア最大級の日用品見本市
- ・ブルメール・ビジョン(パリ)：高級ブランドバイヤーが集まるテキスタイル見本市
- ・オールチャイナレザー・エキシビション(上海)：皮革産業関連展示会、アジア最大級の皮革関連見本市
- ・メゾン・エ・オブジェ2014(パリ)：世界最大級のホームファッション見本市
- ・TPCAショー2014(台湾)：計測機器、エレクトロニクス等精密機器、アジア最大級の電子部品関連見本市
- ・ケルン国際家具見本市(ドイツ)：世界最大の家具見本市



◆専門的な展示会への個別出展支援

- ・海外展示会：補助率1/2以内、100万円以内・国内展示会：補助率1/2以内、50万円以内

◆グローバル人材確保ネットワーク支援

- ・グローバル人材確保に関する県内企業からの相談に対応
- ・成功例となる企業・現地関係者等によるセミナーを開催

◆海外バイヤーの招へい

- ・JETRO や関係機関と連携し、海外からレザーとテキスタイル素材のバイヤーを招へい、商談会を開催

◆海外展開への相談体制の充実

- ・わかやま産業振興財団内に民間企業出身の海外取引に精通したアドバイザーを常駐させ、JETROの有する情報・ノウハウ等を活用し、県内企業への情報提供・アドバイスを実施
- ・アドバイザー・JETRO職員等による個別相談の活用
- ・JETRO海外事務所による支援サービスの活用
- ・約2,000名の商社OB等により組織されたNPO法人国際社会貢献センター(ABIC)と連携し、県内企業の課題にも適したアドバイザーをマッチングし、企業に派遣
- ・中国ビジネスコーディネーターによる現地アドバイス

◆専門的な展示会への集団出展(国内)

- ・機械要素技術展：機械要素(軸受、ベアリング、ねじ、ばね等)や金属、樹脂に関する加工

技術の専門技術展

- ・東京インターナショナルギフト・ショー：パーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市
- ・IFFT/インテリアライフスタイルリビング：「ライフスタイルを提案する」インテリア・デザイン市場のための国際見本市
- ・インターコンジジャパン：エレクトロニクス製造・実装に関する展示商談会
- ・プレミアム・テキスタイル・ジャパン：国内最大のテキスタイル見本市へ県内産地組合の出展を支援
- ・東京レザーフェア：国内最大の皮革関連見本市へ県内産地組合の出展を支援



◆国内での商談会開催

- ・技術を必要とする大企業と技術を有する県内企業とのマッチングのため大企業と商談会開催
- ・優れた県産品を製造する県内企業と県外バイヤー等との商談機会を設定
- ・県外の発注企業(機械金属系メーカー等)と県内企業との新規取引の開拓などを支援

◆首都圏での活動拠点の提供

- ・首都圏展開を目指す企業に営業拠点(東京都内のレンタルブース)を提供し、販路開拓を支援

2. ものづくりと販売力の強化

地場産業の新しいブランドづくりや地域の資源を活用したものづくりなどを支援
販路開拓に取り組む企業への相談体制や各種セミナーの開催など支援機能の強化

◆地場産業の新しいブランドづくりへの取組支援

- ・県内地場産地の企業における、新しいブランドづくりの取組を最長3年間、継続して支援

◆地域資源を活用したものづくり支援

- ・地域資源を活用した新商品の研究開発・試作、新サービスの開発に付随する販路開拓支援
- ・中小企業と大学・公設試験研究機関が連携した新製品の開発等に付随する販路開拓の支援
- ・農林漁業者と中小企業者が連携し新製品の開発等に付随する販路開拓の支援

◆産地組合等の活動支援

- ・産地組合や企業団体の連携事業、海外展開、新製品開発等取組を支援

◆各種ビジネスセミナーの開催

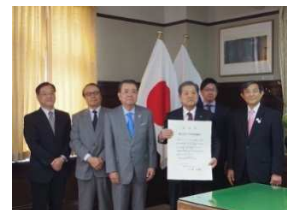
- ・県内企業活動に役立つテーマごとにセミナー・講座を開催

◆県内企業の顕彰制度

- ・優れたビジネスプランや他に誇る技術を持つ県内企業を表彰・認定することで、他の模範となるとともに、県内経済の活性化を促進

◆県内企業の情報発信

- ・県内企業の製品や保有する技術力の情報を積極的に発信



3. プレミア和歌山のブランド力確立・強化

優れた県産品等を和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)に認定し、消費者に推奨
積極的なメディアの活用等によりプレミアム和歌山のブランド力を確立・強化

◆プレミアム和歌山の認定

- ・優れた県産品等をプレミアム和歌山推奨品に認定
- ・プレミアム和歌山推奨品審査委員特別賞の選定・発表

◆プレミアム和歌山のブランド力強化

- ・マスコミの活用や販売促進活動の積極的な展開により、ブランドイメージを向上
- ・プレミアムわかやま紀州館の新設、高級スーパー等の販路を開拓し、販売促進強化



詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/homepage/index.htm>

イベント情報(5月11日～6月10日)

| 期間 | 行事名 | 場所 | 問い合わせ先 |
|--------------|---------------|------------------------|---------------------------|
| 5/11 | 和歌祭 | 和歌山市・紀州東照宮 | 和歌祭保存会 073-444-0808 |
| 5/11 | みやこ姫よさこい祭り | 御坊市・ 日高川ふれあい水辺公園 | 実行委員会 0738-32-0088 |
| 5/11 | みかんの花街道ウォーク | 有田市・内山間部 | 有田市有田みかん課 0737-83-1111 |
| 5/11 | 南紀白浜トライアスロン大会 | 白浜町・白良浜 | 実行委員会 0739-43-6588 |
| 5/14 | 中将姫会式 | 有田市・得生寺 | 得生寺 0737-88-7110 |
| 5/17 | 加太春日神社大祭 | 和歌山市・加太春日神社 | 加太春日神社 073-459-0368 |
| 5/24 5/25 | きのくに歩っとウォーク | 海南市・市民運動場ほか | 実行委委員会 073-492-3349 |
| 5/25 | 砂まつり大会 | 白浜町・白良浜 | 白浜観光協会 0739-43-5511 |
| 6/1 | 献湯祭 | 白浜町・温泉神社 | 白浜観光協会 0739-43-5511 |
| 6/6 | 6月6日は「梅の日」 | 田辺市・熊野本宮大社 京都市・加茂神社 | 紀州梅の会 0739-26-9959 |



中将姫会式は「二十五菩薩練供養」ともいわれ、寺に祀っている中将姫にまつわる伝説からきており、姫のように美しく聡明な徳を得ようと子どもたちが二十五菩薩になってお渡りをします。道中案内の僧を先導に、中将姫和讃を唱える中を、仏や地藏菩薩の仮面をつけ極楽浄土に擬したお堂から娑婆世界を現した堂に行き、念仏行者を導いて再び極楽に帰るといふ演技が披露されます。

自然・風物情報(5月中旬～6月上旬)

| 時期 | 自然・風物名 | 場所 | 問い合わせ先 |
|------|---------------------|-----------------|---------------------------------------|
| 5月中旬 | 「小梅」の収穫始まる | 田辺市 | J A 紀南 0739-23-3450 |
| 5月中旬 | 棚田「あらぎ島」田植え | 有田川町・あらぎ島 | ふれあいの有田川町 ふるさと開発公社 0737-25-0221 |
| 5月下旬 | サツキ見ごろ | 上富田町・観音寺 | 上富田町観光協会 0739-47-0550 |
| | | 粉河町・粉河寺 | 粉河寺 0736-73-4830 |
| 5月下旬 | ホタル飛び交う | 広川町・広川ダム | 広川町産業建設課 0737-63-1122 |
| | | 有田川町・あらぎ島付近ほか | 有田川町商工観光課 0736-52-2111 |
| 5月下旬 | あじさい見ごろ | 有田市・仁平寺 | 有田市産業振興課 0737-83-1111 |
| | | 橋本市・恋し野の里あじさい園 | 橋本市観光協会 0736-33-3552 |
| 5月下旬 | 山椒収穫最盛期 | 有田川町 | J A 有田川清水支所 0737-25-1320 |
| 5月下旬 | イワシ漁最盛期 漁り火幻想的に | みなべ町 | 紀州日高漁協 0738-22-0451 |
| 6月上旬 | アロハシャツに衣替え | 白浜町・役場、銀行など | 白浜町観光課 0739-43-5555 |
| 6月上旬 | 「歯の衛生週間」 クジラの歯磨き | 太地町・くじらの博物館 | くじらの博物館 0735-59-2400 |
| 6月上旬 | カバの歯磨き | 白浜町・アドベンチャーワールド | アドベンチャーワールド 0739-43-3333 |
| 6月上旬 | 小玉スイカの収穫始まる | 印南町 | J A みなべいなみ 0739-72-2650 |



和歌山県は山椒の生産量、栽培面積とも日本一を誇ります。主産地は有田川町(清水地域)・紀美野町で、品種は実が大きく辛みの強い豊産性の「ぶどう山椒」です。未熟の果実である生山椒(青山椒)を収穫する時期は低地では5月中旬から始まり、標高の高い産地へ移り、6月上旬に終わります。

(平成23年山椒の収穫量)

| 順位 | 1 | 2 | 3 |
|----------|------|-----|-----|
| 都道府県名 | 和歌山県 | 高知県 | 大分県 |
| 収穫量(t) | 549 | 133 | 30 |
| 収穫量割合(%) | 69 | 17 | 4 |

～編集後記～

夏の気配も感じられる心地よい季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

大型連休の間、各地にお出かけになられたりゆっくりと過ごされたりと、休暇を満喫された方も多いのではないのでしょうか。私もリフレッシュできましたので、きっちり気持ちを切り替えて参りたいと思います。

さて、5月14日は「紀の国わかやま国体」の開催まで、ちょうど500日前となります。まずは今年の長崎国体もありますが、大会準備にしろ選手強化にしろ1日1日が段々と重みを増して参りました。

こうした中、今月号でも紹介いたしました、ねりんピック(平成31年)の本県開催が決定し、全日本マスターズ(平成29年)、関西ワールドマスターズゲームズ(平成33年)と、実に2年ごとに6年間にわたり全国規模の大会が相次いで和歌山で開催されることとなります。「生涯スポーツ先進県」としてスポーツの振興に取り組むことはもちろんのこと、多くの選手や関係者の来県が見込まれ、経済の活性化も期待される所です。さらには、高齢化が進展する本県にとって、中高年が参加できる大きな大会が開催されることは、出場を目指す方々、それを支える方々には大きな目標となり、元気に繋がることと思います。

また、同じくスポーツの話題をいたしますと、県内唯一のプロスポーツチーム和歌山トライアンズが見事西地区の優勝に輝きました。首位チームとの最終2連戦2連勝での劇的な逆転優勝に満員の会場も大変な興奮に包まれ、和歌山県に大きな感動を与えてくれました。今後は日本一に向けた戦いも控えておりますので、私たちも一生懸命応援したいと思います。皆さんにも力一杯の応援をよろしくお願いいたします。

日に日に夏の訪れが実感され力がみなぎる感じがするこの時期、県内ではホテルやアユ釣りなど自然と触れ合い楽しめる季節です。皆さんも機会がありましたら、和歌山のよさを味わいに来られてみてはいかがでしょうか。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2014年(平成26年)5月 NO.73

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022